

番号	90	水害復旧記念碑 山田憲二書	
所在地	小城市三日月町織島 東分地区		
災害別	昭和24年(1949) ジュディス台風 水害		
目的別	記念碑	建立年	昭和26年5月
特記事項	碑文は摩耗して判読不能		



昭和24年8月のジュディス台風水害の復旧記念碑。小城市三日月町東分の小城新四国19番地藏堂の前に建てられている。この水害により、この地区は一夜にして空前の被害を被った。この大被害とその後苦しい復旧の努力を後世に伝えようと資金を拠出して記念碑を立てたと三日月町史には記されている。

碑文は風化してほとんど判読できないが、幸い三日月町史に碑文の全文が掲載されているので引用する。

※以下、三日月町史 下巻（平成元年11月1日発行） P18~19より

「碑文 昭和二十四年八月十六日、ジュデース台風雨が西九州を襲い就

中天山脊振山系を中心に猛威を振り一瞬にして平坦地を泥土と化し山岳崩壊し家屋耕地の流失埋没作物の被害は前代未聞にして其惨状言語に絶す我部落と郡界を流るる幹線山王水路の上流は奔馬の如き濁流と洪水により堤塘を決潰し家屋の破滅は数軒を算す尚耕地十余町歩護岸と共に破壊或いは流失し全く原型を止めず一帯の容姿を一変せしめたり部落民は自失啞然只拱手するのみ然るに日を経るに従い祖先伝来の美田に対する興農人神心は奮然とし部落内に充実し為に復旧対策は日夜口口に於て老若男女の総力を以て復旧に着手せり昼夜兼行の努力は血涙と共に斯る難工事も短



国土地理院電子国土 Web

日にして山王川一千米をコンクリート護岸とし以て次に銭亀川護岸工事耕地復旧工事を完成乃ち厄を払て福を招くの大成果を収めたり爰に愁眉を開くを得平和東分を祈念する部落民の忍苦辛勞を偲び後の為本碑を建つ」(原文はカタカナ表記)

工事期間

着工 昭和二十五年二月十五日 竣工 昭和二十六年五月十五日 総工費 一千万円

